

平成23年10月22日
4時現在

平成23年10月21日～22日の低気圧に伴う降雨による 中筋川ダムの効果について（速報）

低気圧は九州の西側から北東に移動し、中筋川ダム流域にも非常に強い雨を降らせ、**時間最大雨量83mm**（21日21時から22時）を計測しました。

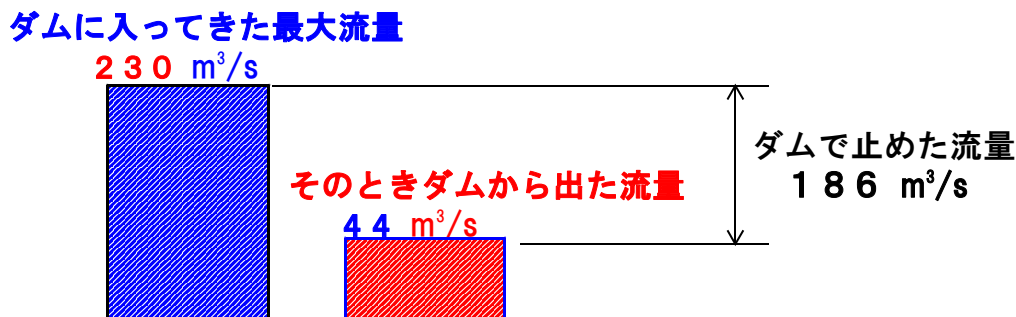
累計雨量は21日午前3時から22日午前2時にかけて**338mm**となっております。

今回の洪水では磯ノ川地点（中筋川の治水基準地点）での最高水位が、**計画高水位8.37mに迫る8.21m**でした。

中筋川ダムがなかった場合の磯ノ川地点の水位は**9.00m**と推定され、**中筋川ダムの洪水調節効果により79cm水位が低下**したものと推定されます。

〔中筋川ダム地点〕

- ・最大流入量…………… 230 m³/s（21日23時00分）
- ・最大流入時放流量…………… 44 m³/s
- ・洪水調節流量…………… 186 m³/s



※参考 平成23年7月 台風6号時の降雨・ダム状況

累計雨量	623mm	最大流入量	169 m ³ /s
最大時間雨量	45mm	最大流入時放流量	55 m ³ /s
最高水位（磯ノ川地点）	7.69m	洪水調節流量	114 m ³ /s

問 い 合 わ せ 先

国土交通省 四国地方整備局 中筋川総合開発工事事務所
 電話（0880）66-0142
 調査・品質確保課長 高橋 弘 内線（351）
 工務課長 増田 稔 内線（311）

（注）流量・水位等の数値は速報値であるため、今後修正される可能性があります。

H2310.21~22洪水（低気圧）の中筋川ダム洪水調節効果

速報値

中筋川ダムがない場合の水位H=9.00m

中筋川ダムによる
水位低下量79cm

▽計画高水位 H=8.37m

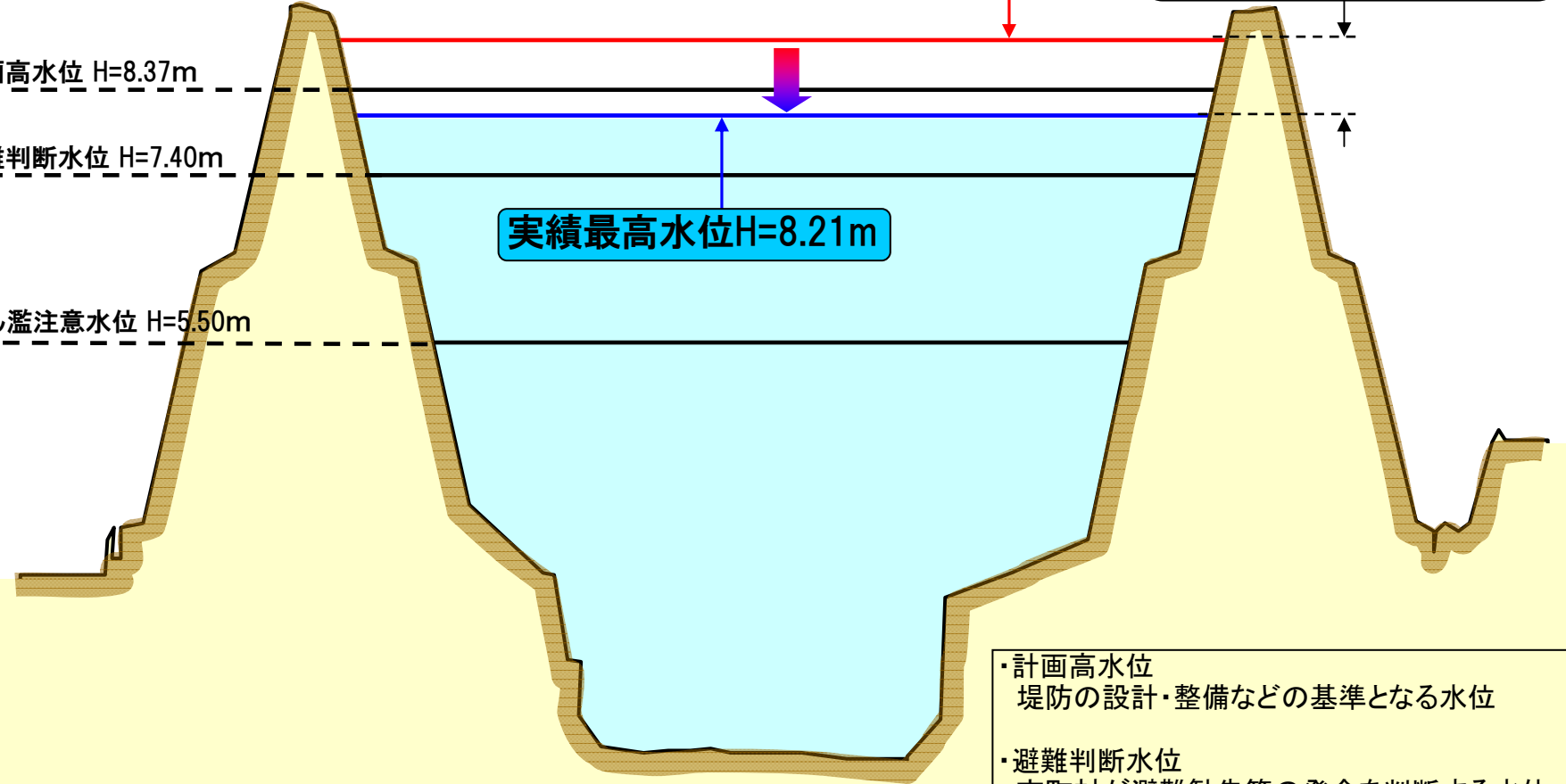
▽避難判断水位 H=7.40m

実績最高水位H=8.21m

▽はん濫注意水位 H=5.50m

- ・計画高水位
堤防の設計・整備などの基準となる水位
- ・避難判断水位
市町村が避難勧告等の発令を判断する水位
- ・はん濫注意水位
住民ははん濫に関する情報に注意する水位

磯ノ川地点（14k/350付近）



平成23年10月21～22日（低気圧）中筋川ダム諸量グラフ

